

第2問 次の文章を読み、以下の問1と問2に答えなさい。

「科学的に見ないとちゃんと正しくものが理解できない」そういう意見を耳にしてぼくは疑問に思った。じゃあ、科学的に見ればちゃんとものがわかるというのは、ほんとうのことなんだろうか。そもそも科学というのはそんなにちゃんとしたものなんだろうか。そんなことをつい考えてしまったのだ。それからは科学的といわれる態度をめぐってずいぶん議論した。科学的にこうだと考えられるという話が、しばらくするとまったく間違いだったということはよくある。たとえば、ある昆虫が非常に的確に行動しており、獲物をつかまえるにはどこから近づいて、相手のどこを狙えばいいかちゃんと知っていて、それを実行しているという。実際にその様子を目撃すると確かにすごいと思う。そのいきものにはそういう行動のパターンがあり、それに則ってハンティングしているという科学的説明がされ、実に納得する。でもほんとうにずっと観察していると、その説明ではダメな場合もたくさんあるということがわかってくる。(中略)

となるとぼくには、今度は、科学的にもものを見るとはどういうことかがわからなくなった。どういうことが科学的な手法なのか。そのころぼくが手がけた翻訳書のひとつに『鼻行類』という本がある。今は消滅した群島に生息していたという、鼻で歩く奇妙ないきものことを記述した本だ。翻訳しているとき、周囲にはさんざんにいわれた。だいたいそんな動物はいない。そこに書いてある話はうそに決まっているじゃないかと。ところがそこにはみごとな理屈があり、鼻行類という生物種がいて、その中でも肉食のもの、花に擬態するものなどさまざまに分かれていて、それぞれどうやって生きているかまで細かく書いてある。解剖図まである。(中略) 本来いない動物の話、あたかもいるように理屈っぽく考えて示すと、人はそれにだまされる。真に受けた学生や大学教授もずいぶんいた。正式な問い合わせや標本貸出の依頼もあったくらいだ。そういう結果になるようなことを、なぜあなたは研究者としてやったのか。はじめからうそだとわかっているものをやるのは研究者としてよくないと、その当時ずいぶん怒られた。それに対してぼくはこう答えていた。人間はどんな意味であれ、きちんとした筋道がつくとそれを信じ込んでしまうということがおもしろかったので、そのことを笑ってやりたいと思って出したのです。わたしたちはこっけいな動物だということを示したかったのです、と。すると今度は、あなたは人が悪いといわれた。(中略)

何が科学的かということとは別に、まず、人間は論理が通れば正しいと考えるほどバカであるという、(A)そのことを知っていることが大事だと思う。そこをカバーするには、自分の中に複数の視点を持つこと、ひとつのことを違った目で見られることではないかと思う。(中略) ぼくは、科学もひとつのものの見方にすぎないと教えてくれるいくつかの書物に早く出会えて、ほんとうによかったと思っている。おかげで科学によって正しい世界が見えると信じ込む人間にならずにすんだ。(中略) 神であれ、科学であれ、ひとつのことにしがみついて精神の基盤とすることは、これまでの人類が抱えてきた弱さ、幼さであり、これからはそういう人間精神の基盤をも相対化しないといけないのではないか。頼るものがあるほうが人間は楽だ。それにしがたい、疑問には目をつぶればいいのだから。(中略)

自分の精神のよって立つところに、いっさい、これは絶対というところはないと思うと不安になるが、その不安の中で、もがきながら耐えることが、これから生きていくことになるのではないかとぼくは思う。近い将来、人類はほんとうに無重力空間に出ていく。ならばその精神もまた同じように、絶対のよりどころのない状態をよしとできるように成長することが大切ではないだろうか。それはとても不安定だけれど、それでこそ、生きていくことが楽しくなるのではないだろうか。よって立つ地面がないということが、物理的な意味でも精神的な意味でもこれからの人間の最大のテーマなのだと思う。あるものに否応なくのっかり、それに頼って生きていくのはこれまでの話、普通の話という気がする。科学者として話をしてくださいとよく頼まれる。ぼくはずっとそれが不満だった。科学だけではつまらないでしょう？ 知性というもの、それがあるということはどういうことか、そういう話をしたい。それはやわらかで何ものにも縛られない。科学ではなく知性こそが、(B)このいきものほんとうの力だと思っている。

(日高敏隆「宙に浮くすすめ」『世界を、こんなふうに見てごらん』集英社2010年より作成)

問1 筆者はなぜ下線部(A)のように思うのか、あなた自身の言葉を用いて200字以内で答えなさい。

問2 下線部(B)「このいきものほんとうの力」について、あなた自身の考えを400字以上600字以内で述べなさい。